

外 来 語

36期生

I テーマ設定の理由

最近、かたかなをよく見かける。また、文章を書くときそこにかたかなが出てくることが多い。でも、それはすべてが外来語ではない。小学校で、少し外来語について習った。その時は、あまりくわしく習わなかったので、今回研究しようと思った。そして、それを日本語にしてみるのもおもしろいだろうと思った。

II 研究方法

[1] 新聞から…

- (1) 昭和59年7月21日～7月31日の朝日新聞の1面で、1番上から天声人語の中で、外来語をさがし、抜き出す。
- (2) それは、どこの国から来たものか辞書で調べる。
- (3) それを、自分なりに日本語にしてみる。
- (4) 11日間の外来語について、棒グラフに表し、考察する。

[2] 辞書から…

- (1) 三省堂小学国語辞典に書いてある外来語を全部抜き出す。
- (2) [1]と同じようにどこの国から来たものか調べる。

[3] 全般的に

- (1) [2]を合わせて、考察する。

III 研究内容

[1] 7月21日(土)

外 来 語	国	日 本 語
マ イ ナ ス	イ ギ リ ス	減 少
ポ イ ン ト	”	点
シ ー リ ン グ	(不 明)	概 算 要 求 基 準
グ ル ー プ	イ ギ リ ス	組
レ ベ ル	”	水 準
ホ テ ル	”	旅 館
ブ ロ ッ ク	”	か た ま り
スト (ストライキ)	”	罷 業

外 来 語	国	日 本 語
レ ジ ャ ー	イ ギ リ ス	余暇
ネ ッ ク	"	重要点
ス ポ ー ツ	"	運動
ガ ス	"	燃料用気体
テロ (テロリズム)	"	暴力行為
ハ ム	"	ブタのもも肉
ロ ー ス	"	上等動物肉
ア ッ プ	"	上昇

計 16 イギリス 15
 不 明 1

7月22日 (日)

外 来 語	国	日 本 語
タ ク シ ー	イ ギ リ ス	貸し切り自動車
キャッシュレス	"	現金払い
デ ザ イン	"	模様
ト ン (t)	"	貨物重量単位
ベ ス ト	"	最善
マ イ ナ ス	"	減少
シ ー リ ン グ	(不 明)	概算要求基準
ゼ ロ	イ ギ リ ス	零
ア メ リ カ	"	亜米利加
イ ギ リ ス	ポ ル ト ガ ル	英吉利
リーダースhip	イ ギ リ ス	指導力
チ ャ ン ス	"	機会
エ ネ ルギ ー	ド イ ツ	活力
ドラスチック	イ ギ リ ス	徹底的
サラリーマン	"	つとめ人
ポ ス ト	"	地位
ケ ー ス	"	事例
サ ー ビ ス	"	奉仕
ト ッ プ	"	最高
ロ ー ン	"	貸し付け

計 20 イギリス 17 ドイツ 1
 ポルトガル 1 不 明 1

7月23日 (月)

外 来 語	国	日 本 語
ビ ー ク	イ ギ リ ス	最盛期
デ バ ー ト	ア メ リ カ	百貨店
ア ン ケ ー ト	フ ラ ン ス	調査
プ ー ル	イ ギ リ ス	水泳場
スピーカー (ラウドスピーカー)	"	拡声器
アンバランス	"	ふつりあい
ギムナジウム	ド イ ツ	高等学校
カ ッ プ ル	イ ギ リ ス	男女ふたりづれ
インテリ (インテリゲンチア)	ロ シ ア	知的労働従事者
テレビ (テレビジョン)	イ ギ リ ス	受 像 機
ランドセル	オ ラ ン ダ	背負いかばん
バザ ー	イ ギ リ ス	慈善市
ス タ ン ド	"	電気台
ス キ ー	"	雪上板すべり
リヤカー	"	運搬用二輪車
シ ョ ッ ク	"	衝 撃

計 16 イギリス 11 オランダ 1
 アメリカ 1 ロシア 1
 フランス 1 ドイツ 1

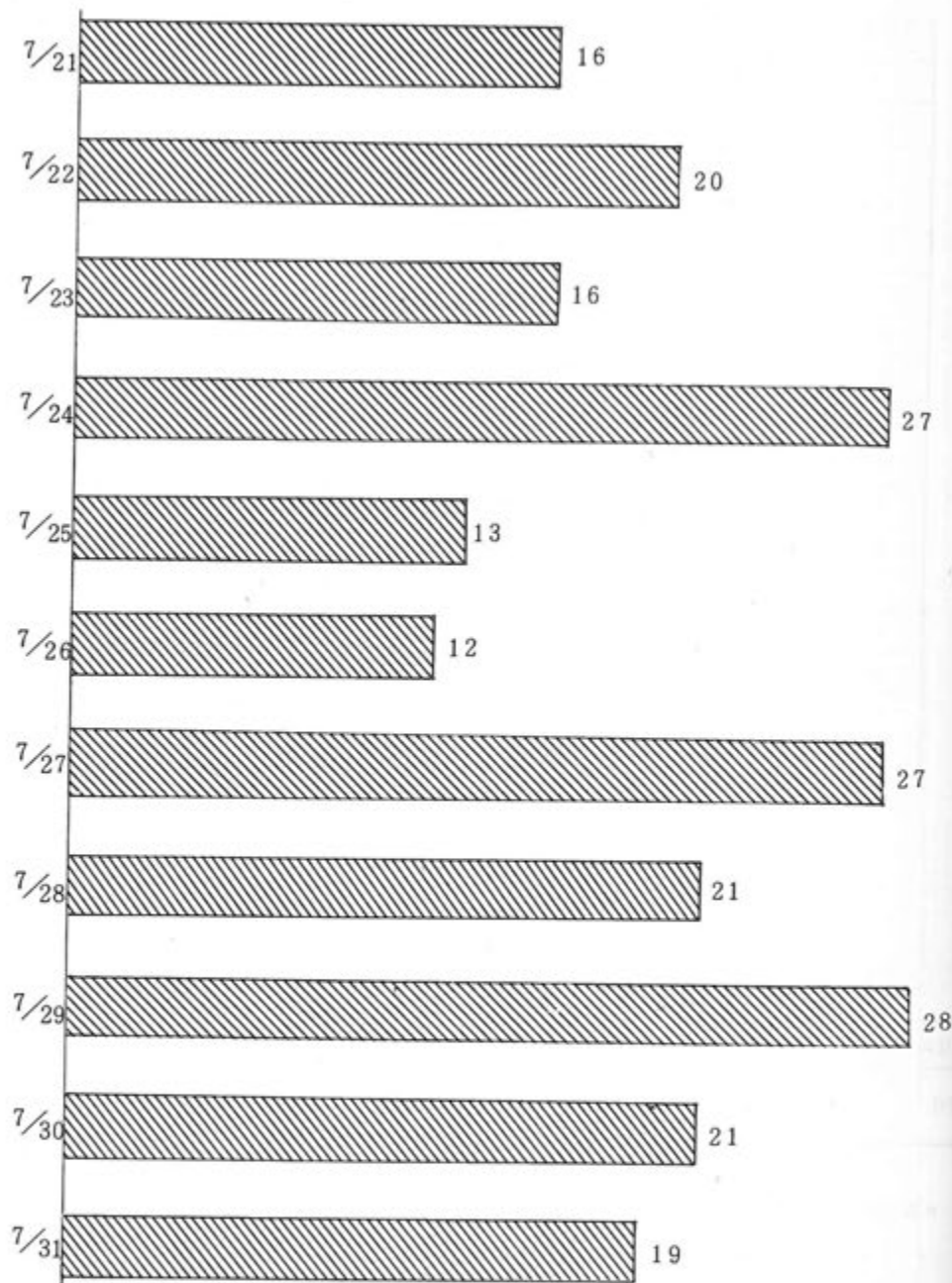
このようにして、11日間調べた。それをまとめると、次のようになる。

イギリス	フランス	ドイツ	オランダ	ポルトガル	アメリカ	イタリア	ラテン	ロシア	不 明
190	8	5	5	2	2	1	1	1	5

○気がついたこと

- ・イギリスだけが圧倒的に多い。→産業革命といっしょに日本に来たのではないだろうか。
- ・アメリカが少ない。→発見されたのが遅く歴史が浅いため、伝わる言葉が少なかったのではないだろうか。
- ・ヨーロッパの国が多い。→貿易に深く関係しているのではないだろうか。

※ 不明は、すべて「シーリング」のことである。



- 平均 $220 \div 11 = 20$ 1日1面に約20個
- 数は、日ごとに差が多く、一定ではない。
- 1面で20個 → 新聞紙全部(24面)では480個以上。

↓
 外来語は生活の中に深く入りこんでいて
 なくてはならないものになってきている。

(2) (例)

イ	イコール	イギリス
	イヤホン	イギリス
	イヤリング	イギリス
	イラストレーション	イギリス
	インキ	オランダ
	インク	イギリス
	インスタント	イギリス
	インターチェンジ	イギリス
	インターホン	イギリス
	インタビュー	イギリス
	インディアン	イギリス
	インフルエンザ	イギリス

計 12 イギリス 11
 オランダ 1

オ	オアシス	イギリス
	オートバイ	イギリス
	オートメーション	イギリス
	オーバー	イギリス
	オール	イギリス
	オーロラ	イギリス
	オペラート	ドイツ
	オペラ	イギリス
	オペレッタ	イタリア
	オリンピック	イギリス
	オルゴール	オランダ
	オレンジ	イギリス

計 12 イギリス 9
 イタリア 1
 ドイツ 1
 オランダ 1

ナ	ナイフ	イギリス
	ナイロン	イギリス
	ナトリウム	ドイツ
	ナレーター	イギリス
	ナンセンス	イギリス
	ナンバー	イギリス
	ナンバーワン	イギリス

計 7 イギリス 6
 ドイツ 1

ノ	ノー	イギリス
	ノート	イギリス
	ノーヒットノーラン	イギリス
	ノック	イギリス
	ノックアウト	イギリス
	ノンフィクション	イギリス
	ノンプロ	イギリス

計 7 イギリス 7

このように「ア」～「ン」について調べた。

その結果、一番多いのは「ハ」で88個だった。

国もイギリス、フランス、イタリア、ポルトガル、ネパール、ドイツ、アメリカと、いっぱいあった。

IV 考察

○国別で…

・フランス

- ・美術 (アトリエ、デッサン、ルネサンス…)
- ・洋服 (アップリケ、ズボン、マント…)
- ・単位 (アール、キログラム、キロメートル、キロリットル…)

・イタリア

- ・音楽 (アルト、ソプラノ、チェンバロ…)
- ・特別なもの (ゴンドラ)

・ドイツ

- ・医学 (オブラート、ガーゼ、カプセル、カルテ…)
- ・音楽 (セレナーデ、テノール、バス…)

・アメリカ

- ・新しい物 (エレベーター、ガソリン、デパート…)
- ・イギリス、オランダは多すぎて分けられなかった。
- ・めずらしいものとして、中国 (マージャン)、ハワイ (レイ)、カンボジア (キセル)、ネパール (バンダ) などが挙げられる。
- 国の特徴がそれぞれ言葉に出てきている。
- スペイン、ポルトガルからの言葉が少なかった。
(2つの国の勢力が強かったのが鎖国の時だったからではないか。)
- カンボジア、ネパールからどうやって伝わったのか分からない。
- 中国から伝わっていたのが意外だった。

X 感想、反省

この研究をするまで、外来語はほとんどアメリカから来たものだと思っていたのに、アメリカからのものはほんの一部でほとんどがイギリスからのものだったことが分かり、驚いた。

全体的に、資料が少なくて困った。だから、日本語にするところは、一応辞書で調べたが勝手に書いてしまった。

また、いろいろこじつけてしまったこともあった。

いつもと同じように自由研究を一番最後にしたので、時間があまりなかった。他の宿題をもっと早くかたづければよかった。

もっと時間があれば、図書館などに行って、外来語の辞書でも借りてきていろいろくわしく調べたらよかったと思う。